

その時

市議会はこう動いた

～外見の変化に苦しむ患者を救え！

アピアランスケア実現へ、立ち上がる市議会～

- 令和7年3月19日 川崎市議会定例会にて、令和7年度一般会計予算が可決された。この中には令和7年6月から施行される「アピアランスケア助成制度の創設」が含まれている。
- 制度創設の裏には患者の苦しみを救いたいと願う、市議会の働きがあった。



アピアランスケアとは



アピアランスケアとは、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのこと。

～ウィッグの活用～

抗がん剤治療等で髪が抜けた際に使用するものの一つとしてウィッグがあげられる。価格は数千円から数十万円まで幅があり、使用感や重さなど自分好みのウィッグを選ぶことができる。

～補整下着の使用～

補整下着の使用用途としては

- ・シルエットを整える
- ・手術した場所の保護・保温等が挙げられる。

～エピテーゼの使用～

エピテーゼとは、失った体の一部をシリコンなどで再現したボディパーツのこと。目や鼻、耳など様々な部位を再現できる。



主な登場人物



市議会代表 およよん



行政

- アピアランスケアについて、これまでは、他都市が医療用ウィッグ等の費用の助成を先行して実施する中、川崎市は実施していなかった。
- このことから、市議会でも行政に対し実施するよう要望していた。行政からは、実施を検討する旨の答弁がなされたものの、実現にはなかなか至らない状況だった。

大和市

平成27年4月から、がん患者のウィッグ購入費の助成制度を開始

横浜市

平成28年4月から、がん患者のウィッグ購入費の助成制度を開始

仙台市

平成30年4月から、がん患者のウィッグ購入費の助成制度を開始

相模原市

令和3年4月から、がん患者のウィッグ購入費の助成制度を開始



市議会でも・・・

平成30年9月12日 第3回定例会

Q

横浜市や大和市ではウィッグや胸部補整具購入に対する助成を実施しています。本市においても助成を導入すべきですが、見解と今後の取り組みを伺います。

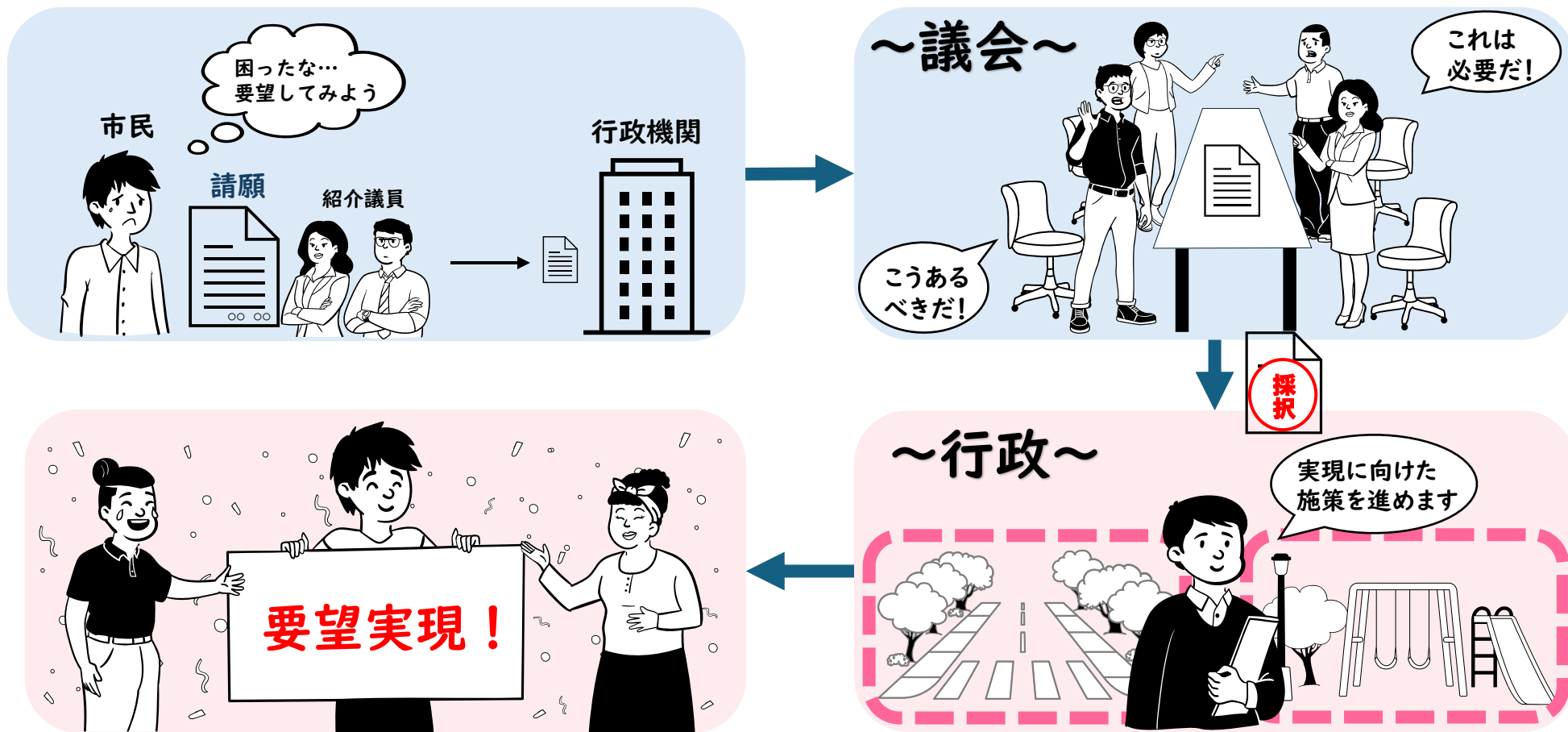
A

がん患者に対する医療用ウィッグ等の支援につきましては、同様のニーズがさまざまな疾病等を原因として存在する中、医療保険制度を初めとした国の動向や他の自治体の状況を注視しながら、対応について検討してまいりたいと存じます。

• そんな中、令和6年3月11日、住民からアピランスケア助成制度実現を求める請願が提出された。



請願とは 「困りごとや要望」を議会に直接伝えることができる文書のこと。
請願の場合は、議員の紹介が必要となる。



- ・ 請願には外見の変化に苦しむ患者の思いが切々と語られていた。患者を救いたい、請願に共感した市議会は、アピアランスケア実現に向けて、奮起するのであった。



『請願第16号

川崎市におけるアピアランスケアに関する助成制度の早期検討開始
を求める請願』とは？

請願第16号

提出日：令和6年3月11日 提出者：高津区在住者ほか130名

主旨：「**ウィッグや補正具購入等のアピアランスケアに関する助成制度について
早期に検討を開始することを強く要望します。**」

1. がんは生涯のうち約2人に1人が罹患する
2. 治療にともなう外見変化に対する医療現場のサポートが重要
3. 国の「第4期がん対策推進基本計画」の中にはがんとの共生のために、治療に伴う外見の変化に対する相談支援などの医療現場のサポート体制構築が重要とある。
4. 県内で3市町、政令市で15都市が既にウィッグの購入助成を行っている



令和6年5月24日、請願は健康福祉委員会で審査される。委員は請願提出者の思いに応えるため、行政に強く訴えた。

Q

がん以外の疾患も対象とする
政令市はあるのか？

A:政令市の中ではないと認識しています。

**川崎独自の制度も
検討してほしい！**

Q

来年度の予算に
間に合うのか？

A:今年度中に何か考えを示したいです。

**困っている人にとっては
1日も早い実現が望まれる！**

Q

他都市は実施していて議会でも
取り上げている！

遅れている認識はあるのか？
今後**制度設計**をどのようにやるのか？

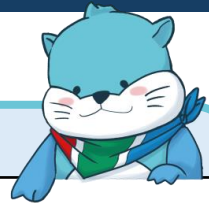


A:遅れているとの認識を持っています。
早々に検討を開始しつつ、国の制度
として成立するよう要請したいと考
えています。

**自治体独自でしっかり
やっていく覚悟を
忘れずに進めてほしい！**

・ 審査の結果、全会一致で採択すべきものとされた。その後の令和6年6月19日に開催された本会議でも全会一致で採択された。これにより制度導入が急速に進むこととなる。

委員会審査の結果



A
会派

川崎市としてどのような助成をしていくかしっかりと検討し、推進していかなくやいけないと思っています。

D
会派

どんな人でも生きたいように生きられるということを市が後押しする姿勢を示してほしいと思います。

B
会派

アピアランスケアはしっかりと自分らしく生きていこうとするためのケアです。川崎市が本当に市民一人一人が自分らしくしっかりと生きていくために支援して取り組んでいただきたいと思っています。

E
会派

全国に誇れるような、そういう制度をつかってほしいです。

C
会派

どういのが適正かというのも川崎独自で考えていただきたいと思っています。しっかりと前に進めて、一刻も早くやっていただきたいと思っています。



などの意見が出され、
全会一致で採択
すべきものとされた!

- ・ 請願採択後も市議会ですべて取り上げ、市に対し制度の充実、早期実施を要望した。また、行政によるヒアリング調査により、がん以外の傷病でも社会生活に支障を来す方がいることなども明らかになった。



令和6年9月11日 第3回定例会

Q

ウィッグや帽子、人工乳房、補整下着、リンパ浮腫対策の弾性着衣も補助対象に含めるべきと考えますが、検討状況を伺います。

A:他都市の状況やがん相談支援センターへのヒアリング調査結果等も踏まえ、助成対象を含む制度の在り方について検討を進めています。



令和6年12月5日 第4回定例会

Q

がん相談支援センターに対するヒアリング調査による実態把握で分かったことについて伺います。

A:ウィッグだけでなく補整下着やエピテーゼの使用によって心理的苦痛の軽減につながり、また、がん以外の傷病でも同じような問題を抱えていることがわかりました。



早期実施に向けてスピード感を持った一層の推進を要望します!

- 市議会が強く要望した結果、令和7年度一般会計予算案に計上された。がん以外の方も対象、レンタル費用も助成など、政令指定都市初となる内容が盛り込まれた。
- 予算案は可決。令和7年6月から、ついに制度開始となった。市民の悩みや想いに耳を傾け、実現に向けて奮闘した市議会の取り組みが、施策として形になった瞬間であった。



令和7年2月27日 第4回定例会

Q

指定都市では初めてがん以外の方も対象者とするなど、充実した助成制度となっています。**がん以外の方も対象とした理由と目的、他都市と比較した場合の制度の特徴**を伺います。

A:傷病や治療による外見の変化は、**がん以外の疾患によっても生じ、それに伴う生活上の支障も共通している**ことから、本市はがん以外の方も助成制度の対象とします。さらに、試着した上で購入したいという声もあるため、本市では**レンタル費用も助成の対象**とします。

川崎市アピアランスケア 助成金交付事業のポイント



予算額 25,128,000円

①

ウィッグや装着ネットだけでなく、胸部補整具やエピテーゼなども助成の対象

②

購入だけでなくレンタルも可



③

18歳未満は毎年度1回、助成金交付の申請をすることができる。



④

がん以外の傷病や先天的な疾患の治療による脱毛等も助成対象



